CRONUS | 3P





先進的な 非線形顕微鏡用のレーザ光源



ディープイメージング用の 高いパルスエネルギー

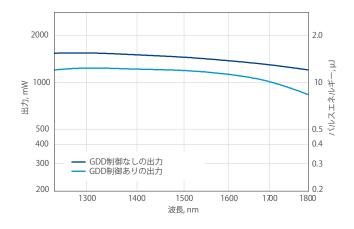
1250~1800nmの波長可変範囲で、 3Pイメージングに対応

最短50 fsのパルス幅で、 高いピーク出力を達成

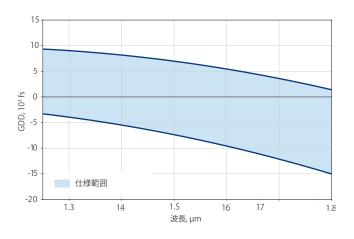
波長とGDDの自動制御で、 簡便な操作性を実現

市場をリードする パルスエネルギー安定性

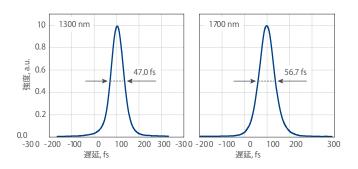
出力およびパルスエネルギーと波長の関係(1MHz時)



GDD制御範囲



パルス幅典型値(波長:1300 nmと1700 nmの場合)



LIGHT CONVERSION WWW.LIGHTCON.COM

仕様

モデル	CRON	CRONUS-3P		CRONUS-3P(出力制御機能付き)	
波長可変範囲 1)	1250 – 1800 nm				
繰り返し周波数 2	シングルショット~1MHzまたは2MHz				
	1300 nm	1700 nm	1300 nm	1700 nm	
パルス幅	< 50 fs	< 65 fs	< 50 fs	< 65 fs	
平均出力	> 1100 mW @ 1 MHz > 800 mW @ 2 MHz	> 800 mW @ 1 MHz > 500 mW @ 2 MHz	> 1000 mW @ 1 MHz > 700 mW @ 2 MHz	> 700 mW @ 1 MHz > 400 mW @ 2 MHz	
GDD制御範囲 ³⁾	-4000 to +9000 fs ²	-12000 to +3500 fs ²	-4000 to +9000 fs ²	-12000 to +3500 fs	
ビーム径 4	2 – 4 mm				
ビーム品質 (M²)	< 1.2				
ビーム楕円率	>0.8				
ビーム拡がり角	< 1 mrad				
ビームポインティング安定性	< 100 μrad				
長時間出力安定性(24時間) 5)	< 1%				
パルスエネルギー安定性(1分) ⁵⁾		< 1%			

GDD制御なしのメイン出力

平均出力 ^⑤

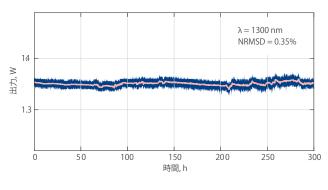
その他の出力

補助の1030 nm増幅器出力	1030 ± 10 nm、最大40 W、最大2 MHz、< 250 fs
オプションの1030 nmオシレータ出力	1030 ± 10 nm、最大500 mW、約65 MHz、約200 fs

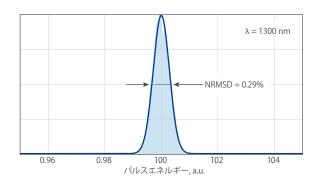
- 1) 波長可変範囲が650~920 nmに拡張された2P+3P構成もご提供できます。弊社にお問い合わせください。
- 2) 繰り返し周波数を低くしてパルスエネルギーを高くするオプションがご利用いただけます。
- 3) 連続分散制御: -3000 fs²で+3000 fs²の顕微鏡を補正。
- 4) 1/e2(コンプレッサ後出力にて測定)
- 5) NRMSD (正規化平均二乗偏差)値。
- 6) v1のみの値です。詳細については、弊社にお問い合わせください。



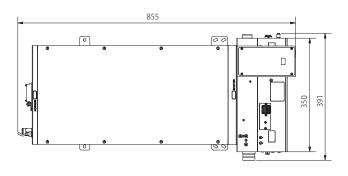
長時間パルス安定性典型値(波長:1300 nm)



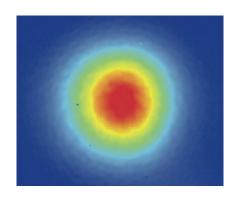
パルスエネルギー分布典型値(波長:1300 nm)



CRONUS-3P 外形図



ビームプロファイル (波長:1300 nm)





〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和 1-2-17 TEL: 048-871-0067 FAX: 048-871-0068 e-mail: voc@phototechnica.co.jp

